

平成29年度 学校自己評価表

坂出第一高等学校

評価基準 [A：十分に達成できた B：おおむね達成できた C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった]

校 訓	英知・誠実・実践	創立1907年（明治40年）以来の尊い歴史と伝統の精神を生かしながら、師弟親和を基として豊かな教養と知性を開発し、よりよき未来の担い手として大きく貢献できるような、英知あふれ創造性豊かで品位のある人間を育成する。	全体 評価
教育方針	真理と平和を愛し、心身ともに健全で、誠実にして豊かな人間性を身につけ、他人から愛され信頼される人間の育成を目的とする。このため、常に建学以来の「師弟親和」と「実修」（実しき道を修めること）精神に基づく教育活動を展開し、地域社会の期待と要望に応え、生徒たちが新たな夢と希望をふくらませることができる学園生活の実現に努める。		
努力目標	<p>創立1907年（明治40年）以来の尊い歴史と伝統に学び、特色ある教育活動に努め、学園の新しい魅力づくりを推進する。</p> <p>(1) 生徒の能力、特性の把握と学力の向上 目的意識を高め、自発的な学習習慣を確立させるとともに、生徒の学習実態に応じた毎日毎時の授業を大切にする。</p> <p>(2) 生徒指導の一層の充実 生徒の内面的指導に重点をおき、生徒自身の自己教育力を高め、生徒の自発的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>(3) 特別教育活動の拡充と体育・健康教育の推進 学科の特性を生かした取り組みや研修を行うなど豊かな学園生活を送らせるとともに体育・保健活動を通じて強靱な意志と実行力を養う。</p> <p>(4) 生命尊重と人権意識の高揚 生命を尊び、安全に関する習慣を確立するとともに、人権を尊重し、思いやりのある人間を育てる。</p>		

評価項目	本年度の重点目標	主な具体的方策	評価	成果と次年度への課題
総務関係	P T A 活動の活性化	・ P T A 行事等の情報発信を活発に行い、保護者の積極的な参加を呼びかける。		
教育課程 学習指導	①授業内容の充実	・ 生徒自らが考える、よく分かる授業に取り組み、授業を通じて生徒が前向きに学校生活を送れるような習慣を身につけさせる。授業手法を研究し、生徒が能動的に学習に取り組めるよう指導する。		
	②学科・コースの特色をさらに高める。	・ 普通科各コースは特色を出し、F D 科と食物科は、他校にないカリキュラムによって専門性を生かした取り組みを推進する。		
進路指導	進学・就職実績の向上	・ 1 年次から各学科の特性を生かした進路指導に取り組み、早くから進路意識を持たせる工夫をする。教員間で進路情報を共有して連携し、計画的かつ組織的に進路指導をおこない、進路実績の向上を図る。		

評価項目	本年度の重点目標	主な具体的方策	評価	成果と次年度への課題
生徒指導	安全・安心な 学校生活の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で「いじめ」の未然防止，早期発見に努める。 ・生命尊重の観点から、交通安全指導を徹底する。 ・基本的生活習慣の確立を徹底させる。 		
人権・同和 教育	①人権意識の高揚	・あらゆる教育の機会を通じて，自他の生命と人権を尊重する態度を育成し，よりよい人間関係を築かせる。		
	②人権問題に関する解決能力の養成	・LHRを通じて，人権課題について自ら考え，人権問題を自ら解決する力を養う。		
健康・相談	生徒一人ひとりが自主的に活動できるようにサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の対応を丁寧に行い、生徒の発言をよく聴く。 ・生徒にとっての最善のために、チームで連携して活動する。 		
特別活動	① 生徒会活動の活性化	・創立110周年記念行事や部活動に、生徒がより積極的に参加できるよう、生徒会が中心となって行事を実施する。		
	② 部活動の活性化	・学校行事やボランティア活動に協力することで、すべての部において部活動を活性化させる。		
学 年 団	1 学年	高校生活への適応と進路意識の啓発	・早く高校生活に慣れることができるようにするとともに将来に向けて進路意識を育み、進路実現に備えて、学習習慣を身につけさせる。	
	2 学年	進路意識の高揚と具体的目標の確立	・進路意識を一層高め、具体的な目標を持ち、目標実現に向けて、積極的に努力する姿勢を養う。	
	3 学年	進路目標の達成	・進路目標を達成するための、最大限の努力を促し、生徒個々の適性にあった進路指導を行う。	